

令和4年度 第63回県政に関する世論調査の主な活用状況

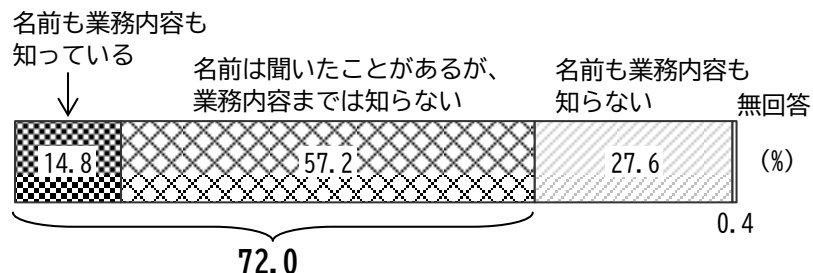
～皆さまの回答は各種施策や計画の資料として活用されます～

調査結果 (令和5年1月公表)

○環境と生活について

- 「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」の認知度 (環境生活部くらし安全推進課)

(n=1,591)



主な活用状況 (令和6年1月時点)

- 名前を聞いたことがある県民の割合は、全体の7割を超えていることが分かった一方、消費者センター等の業務内容まで知っている県民の割合は、1割台半ばに留まっていることも分かった。
- そのため、千葉県公式LINEやチーバくんエックス、ラジオCMなど様々な広報媒体を活用し、業務内容の周知を図ることにより、県民に身近な相談窓口となるよう広報活動を行った。
- 第3次千葉県消費生活基本計画(計画期間：令和元年度～5年度)の進捗状況を把握する資料とし、消費者行政審議会において審議予定。
- 次期計画の指標項目の策定の資料等として活用している。

令和4年度 第63回県政に関する世論調査の主な活用状況

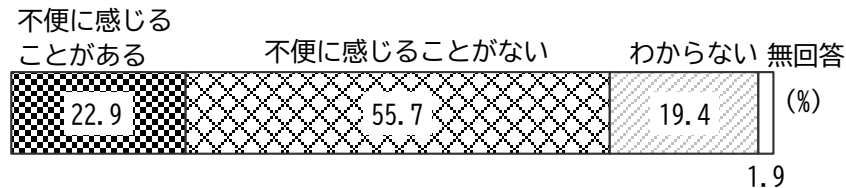
～皆さまの回答は各種施策や計画の資料として活用されます～

調査結果 (令和5年1月公表)

○公金のキャッシュレス化の推進について (出納局)

・公金の納付に当たり不便と感じることの有無

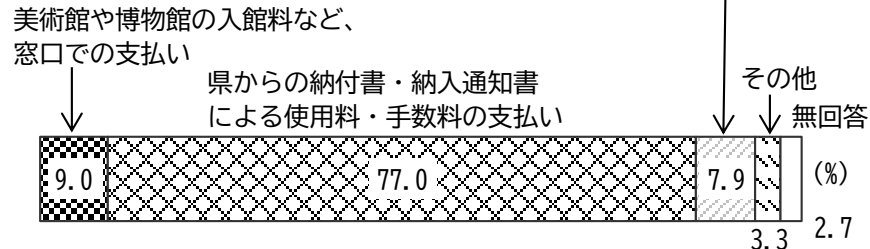
(n=1,591)



・キャッシュレス決済を導入すべきだと思う場面

(n=365)

県立学校の出願にかかる入学検査料など、
インターネットでの申込に係る使用料・手数料の支払い



主な活用状況 (令和6年1月時点)

- ・特に納付書・納入通知書による支払いに不便を感じている県民がいることが分かった。
- ・県民の利便性の向上のため、対面窓口、電子申請及び納付書等の納付手続において、キャッシュレス決済を導入することとした。

<導入した主なキャッシュレス決済の手段>

・行政財産使用料等 (一部)

令和5年3月からPay-easy (ペイジー) 決済が可能
※令和6年3月からクレジットカード、スマホ決済アプリも使用可能となる予定

・県立高校の入学検査料 (一部の県立学校)

令和5年度入試からPay-easy (ペイジー) 決済が可能
令和6年度入試からクレジットカード払いが可能

・美術館・博物館等の入館料

令和5年10月から電子マネー、クレジットカード、スマホ決済アプリが使用可能

・運転免許関係手数料

令和5年12月から電子マネー、クレジットカード、スマホ決済アプリが使用可能

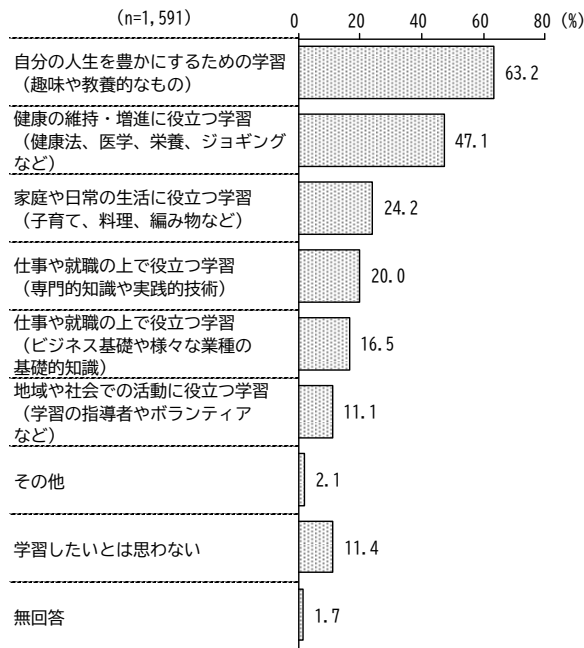
令和4年度 第63回県政に関する世論調査の主な活用状況

～皆さまの回答は各種施策や計画の資料として活用されます～

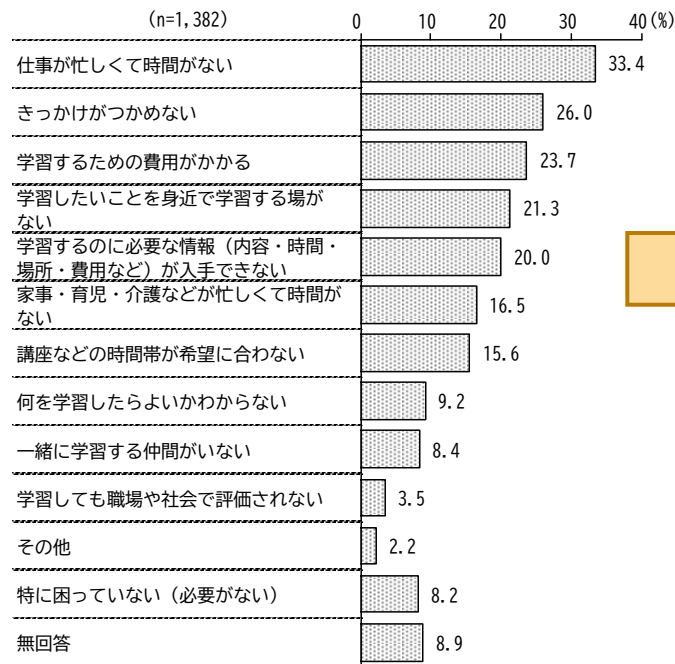
調査結果 (令和5年1月公表)

○生涯学習について (教育庁教育振興部生涯学習課)

・今後学習したいと思うこと



・学習する上で困っていること



主な活用状況 (令和6年1月時点)

新しい時代に合った生涯学習社会の実現を図るため、令和5年5月に策定した「千葉県生涯学習推進方針」に調査結果を記載した。

<調査結果の記載について>

- ・ 県民の学習需要の基礎資料として記載 (4ページ)
- ・ 生涯学習を行うにあたっての課題の基礎資料として掲載 (6ページ)

<参考> 千葉県ホームページ
「千葉県生涯学習推進方針」



令和4年度 第63回県政に関する世論調査の主な活用状況

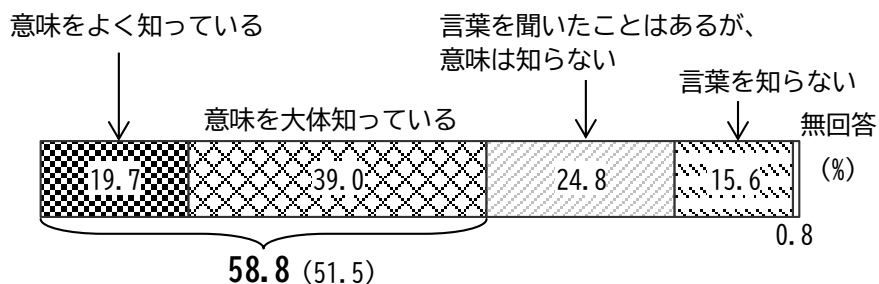
～皆さまの回答は各種施策や計画の資料として活用されます～

調査結果 (令和5年1月公表)

○SDGs等について

・SDGsの言葉の認知度 (総合企画部政策企画課)

(n=1,591)



注) () 書きは、令和3年度の調査結果を示している。

主な活用状況 (令和6年1月時点)

- ・県民のSDGsの認知度を把握し、県民や企業、団体等へ広く普及啓発を図る上で活用した。
- ・チーバくんのデザインによるSDGsシンボルマークを活用した普及啓発を行うとともに、ちばSDGsパートナー登録制度により県内企業等における自発的な取組を推進した。
- ・SDGsを推進していくためには、企業や団体、県民一人ひとりが身近なものとして捉え、できることから取り組んでいただくことが重要であることから、引き続き、普及啓発等を通じて、SDGs推進の意義が広く理解されるよう取り組んでいく。

<参考> 千葉県ホームページ
「ちばSDGsパートナー登録制度」



ちばSDGs